

館野地区説明会 協議録

日 時	令和4年6月26日（日） 14:00～15:40
場 所	館野小学校 体育館
出席者	出山教育長・岡田教育部長・今井教育総務課長・庄司教育推進室長・ 藤本同副課長・小柴副主査（司会）
参加者	10人（保護者70% 地域住民30%）
記 者	なし（-）

【 概 要 】

- 教育長説明 5分
- 課長説明 45分
- 前日までの質疑応答の紹介 10分
- 質疑応答 30分（2名）

（学校再編全体の方向性に対する意見）

- 各地域で考える上でも、市が再編案の「たたき台」を示した方が良い。

（地区での組織立て方法に関する意見）

- 説明会への参加者が少ない地区は、組織を立ち上げるにしても、組織目的が周知されず組織立てが難しいのではないか。
- 未就学児の保護者が組織に参加したいといった場合、小学校を通わせる地域とは、別のこども園に通わせているため、それらの情報が適切に届くか不安があるためその辺の配慮をして欲しい。

【 個別議事録 】

（参加者A）

- ・ 館山市の方向として小中一貫校を目指していくのか？

（藤本副課長）

- ・ 今回の基本指針では、少子化が一気に加速化する中、全市的な課題として各地域での説明や議論を同時並行で進めていきたいと考えています。現在、市としてどこどこを統合するのか、そしてその統合学校は小中一貫型とするのか、そのようなプランを考えているわけではありません。

（教育長）

- ・ 現状、市として小中一貫校を目指すとか、目指さないとか、その辺は白紙です。各地域がどのような学校規模が良いと思うのか、それらを聞いたなかで次のステップで考えるべき事項だと思っています。

（参加者A）

- ・ 学校の統廃合をしても、指定避難場所となっている体育館は、維持管理しなければならないのでは？

(藤本副課長)

- ・ 現実的に、学校再編が行われた旧神戸小、旧富崎小についても、体育館は指定避難所であり、現在も管理運営を行っています。

今後の学校再編に関しても、避難所機能となる建物は適切な維持管理を行わなければならないと考えています。

(参加者 A)

- ・ 避難所機能（体育館）は残すとの考えで良いのか？

(藤本副課長)

- ・ 市で課題となっているのは、学校だけではなく各地区公民館についても老朽化が激しくなっている現状があります。旧神戸小では校舎の一部を公民館として使っている状況もあり、避難所機能と合わせて、それら地区コミュニティ機能を使用しなくなった学校施設に入れていくのか、それらについても、考えていかなければならない課題と認識しています。

(参加者 A)

- ・ 学校施設は、宿营地にもなっているが、その辺の考えは？
- ・ 公民館機能などを入れると、用途転用となり消防法などに準じた改修も必要となる。よって、施設の維持管理費用は、結局減らないのでは？

(藤本副課長)

- ・ 仮に学校再編を行う際には、有事の際を見据えて市の危機管理部局と調整を行い、地域住民にとって必要な機能は残さなければならない。それが、使用しなくなった学校施設なのか、といった議論は、専門セクションの意見を踏まえて考えていかなければならないことです。
- ・ また、ご指摘のとおり施設の用途が変われば、消防法などの基準が変わることとなりますが、別用途で使用する面積が少なくなれば、建物に要する維持管理費用は減少していきます。

(参加者 A)

- ・ 地域で立ち上げる組織に対して、市は関与するのか？

(藤本副課長)

- ・ 市としては協議に関わっていくつもりですが、関与しないが良いとの地域意見であれば、そのように致します。

(参加者 A)

- ・ 組織を立ち上げるといっても、今日みたいに説明会の参加者が少なく、目的が分からないのでは？

(藤本副課長)

- ・ 市としては、出来る限りの周知をしてきたと考えています。広報特集号、町内会連合協議会へのお願い、全小中学校の保護者、保育園・幼稚園など未来の保護者の方々には公立私立を問わず、直接文書でも案内を出したところです。

ただし、全部の地区の説明会の出席状況（結果）を踏まえて、考えていかなければならないと思っていますが、先日開催した九重地区では、20名弱の人に来ていただき、そのほとんどが保護者の方々でありました。説明会を聞いた保護者の方々から、子供が同学年にいる保護者の方々などへ情報が伝達されればとも思っています。

(参加者 A)

- ・ 地域で考える「たたき台」として、市が考える再編案を示しては??

(藤本副課長)

- ・ まず、どこと統合するのかを考えるのではなく、まず自分たちの子供を、どのような学校規模で学ばせたいのか、それを考えて頂きたい。

複式学級となる学校規模でも良いと考えるのか

市が示した最低ラインである 1 学級 15 人規模、小学校全体で 90 人規模が良いのか

クラス替えが出来る学校規模で、子供を学ばせたいのか

それらについて、保護者の皆さま、地域の皆さまの意見を纏めて頂きたい。

どこと統合するのかに関しては、次のステップであり、このままで良いと考えるのであればそれらを考える必要もなくなります。

(参加者 A)

- ・ 最終的に、市として学校再編をするのですか?

(藤本副課長)

- ・ 市としては、市内の小学校の半数が複式学級となる状況は、好ましくないと考えていますので、学校再編を行うべきと考えています。

(参加者 A)

- ・ では、地区での説明の際に、貴方たちの地区は再編の対象となる地区ですよ!と話しているのか? 市が考える再編案は無いのか?

(藤本副課長)

- ・ 説明方法は、全地区同じであり、先程から説明しているように、現段階で市が考える再編計画(案)はございません。

(教育長)

- ・ 今回、全ての地区で同じような説明を行っているのは、何も小さい学校だけの問題ではなく、クラス替えが出来る北条小学校、館山小学校においても、一市民(保護者)として考えること、思うことがあるかもしれませんので、それらの意見も踏まえて、考えていきたいと思っている。

- ・ 一番は、子供達のことを考えて、子供達がこれから社会に出る前に、館山市の小中学校において、どういう環境を提供して行ったらという視点で、保護者や地域の方々と共に考えて方向性を見つけていきたいと考えています。

(参加者 B)

- ・ 組織立てを行う発信者は? 小学校の P T A であればイメージが湧きますが、未就学児の保育園などの場合、こんな組織を作ります!と言い出す人はどう考えているのか?

(藤本副課長)

- ・ 確かに未就学児の保護者の方々への声掛けについては、市の方でも父母の会の現状など任意組織で把握できていない部分もあるため、これからまず、幼稚園やこども園の職員の方々と相談しながら考えていきたいと思っています。

(参加者 B)

- ・ 私自身、仕事の都合上、住んでいる地域と別のこども園に通わせており、その場合の各地域での組織立ての情報が、どのように伝わってくるのか?心配な部分もあります。

- ・ また、館山に戻ってきたばかりで、まだ人間関係も築けていないけど、この立ち上げる組織には興味もあるところです。

(藤本副課長)

- ・ 貴重な意見をありがとうございました。
- ・ それらを参考に組織立ての検討をしていきます。